

いちごうどんこ病の発生に注意してください。

当センターのいちご巡回調査（11月5～9日）でのうどんこ病（写真1、2）の発生は、発生ほ場率が22.1%、発生株率が8.0%で平年並の状況です（図1）。現在は、一部のほ場で発生が目立つ状況ですが、うどんこ病は、発生が増えてからの防除は難しいことから、予防対策と初期防除が極めて重要になります。ほ場内をよく観察し、まだ発生が見られないほ場では予防対策を、既に発生がみられるほ場では速やかに防除を実施しましょう。

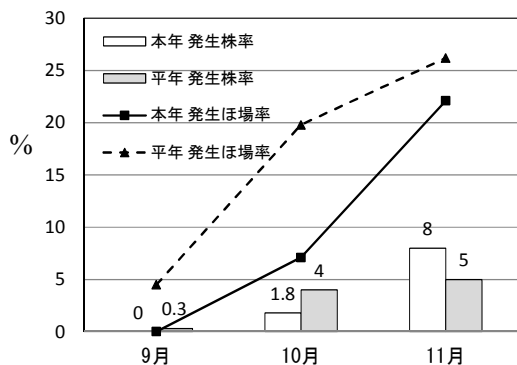


図1 うどんこ病の発生推移



写真1 葉の病徴

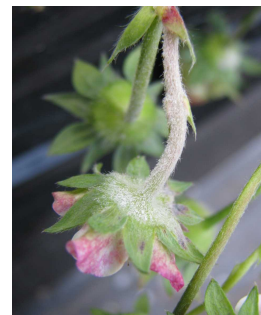


写真2

花弁と果梗の病徴

【防除対策】

- （1）軟弱徒長すると発生が多くなるので、適正な温度管理やかん水を行う。
- （2）硫黄粒剤※をくん煙する。
※ 6～16g / 2000m³、高さ2m、床面積1000m²
- （3）発生状況に応じて、予防効果または治療効果がある薬剤を散布する。

表1 いちごうどんこ病に登録がある主な薬剤（平成24年11月21日現在）

	薬剤名	希釈 倍数	使用時期 ／使用回数	成分／成分の 総使用回数
主に 予防	ベルコートフロアブル	2,000～ 4,000倍	収穫前日まで（生 育期）／2回以内	イミノクタジン ／7回以内※ ¹
	フルピカフロアブル	2,000～ 3,000倍	収穫前日まで ／3回以内	メパニピリム ／3回以内
	アフェットフロアブル	2,000倍	収穫前日まで ／3回以内	ペンチオピラド ／3回以内
主に 治療	パンチョTF顆粒水和剤	2,000倍	収穫前日まで ／2回以内	シルフエナミド ¹ ／2回以内 トリフルジール ¹ ／5回以内
	サンリット水和剤	2,000～ 4,000倍	収穫前日まで ／3回以内	シメコナゾール ／3回以内
	アミスター20フロアブル	1,500～ 2,000倍	収穫前日まで ／3回以内	アゾキシストロビン ／7回以内※ ²
	ストロビーフロアブル	3,000～ 5,000倍	収穫前日まで ／3回以内	クレソキシムメチル ／3回以内
	カリグリーン〈野菜類（ト マト、ミトマを除く）〉	800～ 1,000倍	収穫前日まで ／－	炭酸水素カリウム ／－

※1 育苗期は5回以内、本圃では2回以内

※2 苗床4回以内、本圃3回以内

詳しくは、農業環境指導センター（<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/>）までお問合せ下さい。
また、当センター携帯サイト（<http://www.jppn.ne.jp/tochigi/keitai.htm>）もご利用下さい。

（TEL 028-626-3086）